## #編集後記 信楽の狸八相縁起

信楽は、今放送されている朝ドラ「スカーレット」の舞台。 街のあちこちでタヌキの焼き物が迎えてくれます。 アヴニール労務事務所 所長 柿野元博 http://www.avenir-sr.jp E-Mail avenir4you@gmail.com

信楽焼のタヌキは、八相縁起にちなみ、編み笠をかぶり、首をかしげながら片手に徳利、片手に通帳を持つ姿が定番となっていますが、その出で立ちにはそれぞれ以下のような意味があるそうです

笠:思わざる悪事災難避けるため用心常に身を守る笠

顔:世は広く互いに愛想よく暮らし誠をもって努めはげまん

目:何事も前後左右に気を配り正しく見つむる事忘れめ

通帖:世渡りはまず信用が第一ぞ活動常に四通八達

徳利:恵まれて飲食のみに事足りて徳はひそかに我身につけん

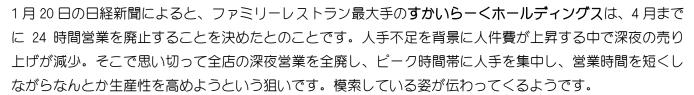
腹:物事は常に落ちつきさりながら決断力の大肚をもて

金袋:金銭の宝は自由自在なる運用をなせ

尾:何事も終わりは大きくしっかりと身を立てるこそ真の幸福

石田豪澄和尚の「信楽狸八相縁起」

愛嬌のある信楽焼のタヌキは、大変な縁起物でもあるのですね。(^^)



「働き方改革」で残業時間を削れ、休日出勤を減らせという会社は多いとは思いますが、会社として何も策がないのに下に言うだけなら、やはりどこかに無理が生じるかと思います。まず残業手当に関係がない管理監督職にシワ寄せがいき、管理監督職が疲弊してしまうことも多いのではないでしょうか。

厚生労働省が公表した「平成30年版 労働経済の分析」によると、**管理職に昇進したくない**という社員は全体の61%を超えています。その理由は「責任が重くなるから」が71%、「業務量が増え長時間労働になるから」が65%となっています。疲れた上司の姿を見て、自分はああなりたくはないと思ったり、役職自体に魅力を感じなかったりして、昇進を拒否する社員が増えてきているようです。

疲弊する管理職を見て見ぬフリの「**狸寝入り**」で、その下の社員の上昇志向を削ぐことになってしまっては、健全な職場とはいえません。

## 企業における最大の職場環境は、「上司」。

活き活きと働く魅力ある管理職を増やすことが、職場の活性化につながると僕は思っています。

「信楽狸八相縁起」にある、「何事も前後左右に気を配り正しく見つむる事忘れめ」でいきたいものです。

信楽焼のタヌキは、時代とともに広く親しみが持てるよう、なんとなく憎めない今の姿になっていったそうです。そもそも江戸時代より前のタヌキは御伽草子のカチカチ山(お婆さんをだまして撲殺し、お爺さんに「婆汁」として食べさせた)にあるように、おどろおどろしい一面がイメージとしてありました。

信楽焼のタヌキのイメージも長い年月で変わっていき、信楽のシンボルとなるまで 社会に受け入れられたのだと思うと、なんか愛おしく感じてしまいます。(^^ゞ

ん!誰か、僕とタヌキが似ているからでしょって思っていませんか?(+\_+)

残念でしたー!僕が得意なのは寝たふり(狸寝入り)じゃなく、起きているふりなんだよねー!

